



新年、あけましておめでとうございます。

今年も一年飯野雪男事務所、事務所通信ともどもよろしくお願ひいたします。



税務情報

電子申告について



昨年11月より、他の地区に先駆け、名古屋国税局管内で電子申告の受付がスタートしました。その他の地区では今年6月から電子申告が本格稼働します。当面、国税（法人税、消費税、個人所得税）が対象になります。

これにより、申告はパソコンから、税金の納付もインターネットバンキングを利用して納付することが可能となりつつあります。

電子申告のためには申告書提出者の電子証明書を取得する必要があります。これは、法人の場合、登記簿の謄本等と共に税務署に提出します。その後、電子証明書が発行され、識別番号（16桁）、暗証番号、暗証番号の更新期限が与えられます。さらに、電子申告用ソフト「e-Tax」が提供され、このソフトを利用して申告書を作成することになります。

なお、会計事務所に申告を委任されている場合でも、電子申告するためには、法人の電子証明書が必要となりますので、ご注意ください。

インターネットの活用いろいろ



最近では、仕事のあらゆる場面でインターネットから情報を収集することが多くなりました。みなさん、どのように利用していらっしゃるのでしょうか。いくつか例を挙げてみましょう。

- ・オンラインショップを活用してパソコンや事務用品を購入
- ・税務署への提出書類を印刷
- ・A-oneの「ラベル屋さん」から市販のラベル用紙に印字するソフトをダウンロード
- ・英和、和英、国語辞典などを利用
- ・不用品をネットオークションへ
- ・周辺地図をアウトプット
- ・飛行機、ホテル等の予約
- ・アマゾンで本を購入
- ・経理、人事関係でわからないことを質問



などいろいろです。このうち、いくつかは私も愛用し大変重宝しています。何かを購入する場合には、インターネット割引が設けられているサイトもありますので、チェックしてみてください。

所長の今月のコラム

成長や豊かさを今後も追い続けてもよいのだろうか
- 成長や豊かさに限界はないのか、新しいライフスタイルや価値観は -

新年明けましておめでとうございます。しかし、誰かの句ではないが、「正月やめでたくもあり、めでたくもなし」の心境ではないでしょうか。

過日、戦中戦後の貧しい少年時代を送った同年輩の中小企業の経営者と食事をしながら、成長や豊かさというは何なんだろうと話が弾んだ。物的な豊かさの面では少年時代と比較すると天と地の差があり、仕事などで時たま体験する後進国とではその豊かさにおいて天と地の差がある。私たちの豊かさはこのような後進国の低賃金と貧しさがあって享受できている様に考えられる。少年時代の貧しさから何とかして抜け出て、うまいものを食いたい、格好の良い衣類などを身に付けたいと必死に頑張ったことがつい先日のように思い出される。同年輩の多数の人たちが頑張って、世界の奇跡とまで称された成長を実現し、今日の豊かさを我が物にできた。そして、今は階段の踊り場に到達したのか、峠を登りきり下りにさしかかったのか、不景気かデフレとか言われており、経済も企業活動も全てが意気消沈している。しかし、再度の成長や豊かさを追い求めるキッカケなどになる貧しさや物欲をそそめるものが少ない。これまでとは「次元の異なる追い求める豊かさ」を発見することが不可欠なのではなからうか。このようなことが話題の要点であった。

本の紹介

「成長する企業には訳がある」



さいたま総合研究所編 同友館出版

成功している経営者に、その秘訣は？と問えば、「顧客満足度の向上」、「環境変化への対応」というような言葉が跳ね返ってきます。また、その具体策としては、「時間との競争」であったり、「独自性に富んだ製品、商品、サービス」であることが一般的です。

このようなことは厳しい国際競争、日進月歩の情報革命下で当然のことと受け止められ、すべての企業がこのような環境変化に対応すべく必死に頑張っています。特に、中小企業はその資金力、技術力、人材などにおいてハンデを背負っており、このようなハンデ克服という難関が加わっています。

この本では、「成功する企業には訳がある」という題名で、その辺に幾らでもある従業員規模で50人を下回り、中には10人前後という企業の成功事例を43社について纏めたものです。

ぜひ、ご一読し、参考にいただければ幸いです。事務所の職員との議論のネタなどにして下さい。